

## 協働のまちづくり推進委員会（第7回）結果概要

日時：平成24年3月21日（水）18:30～20:30

場所：八戸市庁別館2階 会議室C

本会議の結果概要を、次のとおり報告する。

### ■ 会議概要について

- 平成24年度奨励金対象事業 書類審査について
  - ・ 平成24年度奨励金対象（7件）の書類審査、及び意見交換を実施。
  - ・ 上記意見交換を基に、市民奨励金公開プレゼンテーション審査会（4/21開催）における委員会総評案を検討。

### ■ 今後のスケジュールについて

- 今後のスケジュール
  - ・ 4月21日（土） 平成24年度市民奨励金公開プレゼンテーション審査会 開催
  - ・ 4月25日（水） 第2回協働のまちづくり推進委員会開催  
（案件：平成23年度市民奨励金の評価）
  - ・ 5月上旬 平成24年度市民提案制度市設定テーマへの意見募集（メール）
  - ・ 5月19日（土） 平成23年度実施事業 協働のまちづくり「活動成果発表会」 開催

### ■ 出席者（敬称略） ※参考

- 協働のまちづくり推進委員会（6名）
  - ・ 北向秀幸 委員長
  - ・ 佐藤博幸 委員
  - ・ 中上千壽子 委員
  - ・ 奈良卓 委員
  - ・ 藤村幸子 委員
  - ・ 宮崎菜穂子 委員
- ・ 市民連携推進課（4名）

## 協働のまちづくり推進委員会（第7回）議事録

日時：平成24年3月21日（水）18:30～20:30

場所：八戸市庁別館2階 会議室C

### 次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 平成24年度「元気な八戸づくり」市民奨励金対象事業の書類審査
  - (1)初動期支援コース(5件)
  - (2)事業拡大支援コース(2件)
- 4 その他
  - ・市民提案制度市設定テーマ募集状況の中間報告について
  - ・今後のスケジュールについて
- 5 閉会

### (次第3)平成24年度「元気な八戸づくり」市民奨励金対象事業の書類審査について

○事務局より、以下の事項について確認。

- ・初動期支援コースについては、申請団体である「八戸緩和ケアを考える会」に宮崎委員が所属しているため、宮崎委員以外の6名で審査。

○平成24年度奨励金事業に対する書類審査結果をまとめた資料に基づき、事務局よりポイントを絞って説明。

○市民奨励金各コース事業（初動期支援コース5件、事業拡大支援コース2件）についてそれぞれ意見交換を実施。

○上記意見交換を基に、市民奨励金公開プレゼンテーション審査会（4/21開催）における質問事項とコースごとの総評案を検討。

### 初動期支援コース①

#### ぷれジョブ八戸／ぷれジョブ（障害のある子どものお仕事体験活動）の実施

##### ■事務局説明

- ・全体的にプラスの意見が多く、高い点数を獲得している。特に自発性、独創性の項目が最も高い点数となっていた。
- ・評価されている点としては、障がい者と地域社会とのつながりを生む機会の提供、特に「こどもはっち」でのぷれジョブ活動に期待が寄せられていた。
- ・マイナス評価としては、まとまりやすい人数であるが、回数が増えることによって、負担が大きくなり、継続が難しいのではないのかという意見があった。

- ・アドバイスとしては、ボランティアの確保や受け入れ先との連携がうまくできればよいということや、対象事業者とのコミュニケーションを事業に盛り込んでもいいのではないのかという意見があげられた。

#### ■委員

- ・始まったばかりということもあり、予算的に収入の見通しがついているのか気になる。
- ・2年後、奨励金がない中でどう収入を確保していくのかももう少し提示してもらえれば、継続していける団体だと思う。内容的には全然問題ない。

### <質問項目>

- 継続していく上での今後の財源の確保について、今後の見通しを教えてください。

## 初動期支援コース②

### 『中居林・グランドゴルフ・で・コミュニティ』実行委員会／ なかいばやし世代間交流グランドゴルフ大会

#### ■事務局説明

- ・評価されている点としては、広範囲の年齢層の世代交流が気軽に参加でき、地域コミュニティを活性化させるという意見があげられた。
- ・マイナスの評価としては、マンネリ化や会費の設定がないこと、目的をもっと明確にしてほしいことがあげられた。
- ・アドバイスとしては、公益性があるが、グランドゴルフだけでなく、「まちづくり」をもう少し意識して取り組んでほしいということだった。

#### ■委員

- ・自分が加入している町内会では体育振興会を中心としてグランドゴルフ大会を開催しているし、他地域も同じようにやっていると思うが、違いが分からなかった。
- ・グランドゴルフを通じて〇〇がしたいという部分をもう少し強く出してほしい。世代間交流だけであれば、体育振興会中心でもできる。
- ・他の地域を巻き込む等、もう一つ何かあるとよい。

#### ■委員

- ・体育振興会が地域でどれくらい活動の違いがあるのかわからないため、中居林でどういった形になっているのか、他地域と違ってあえて奨励金を使う理由が見えてこない。

#### ■事務局

- ・公開プレゼンテーション審査会で答えて頂く形をとってはどうか。

#### ■委員

- ・50周年事業はこれだけなのか。記念事業の一環として行うのであれば、他にどのような事業をするのか。この部分だけ奨励金が必要な理由を聞いてみたい。

#### ■委員

- ・会費がない分、体育振興会から助成金のようなものを少し頂いている。関わり方の位置づけをはっきりした方がよいのではないか。

■委員

- ・今回は実行委員会形式で企画されているが、今後大会を開催するにあたってどう運営していくのか（会費徴収等）という問題が出てくる。
- ・質問事項として、今後の見通しと体育振興会として開催することとの違いを聞きたい。

■委員

- ・おそらく中居林はまだまちづくりに対して分からない部分が多いのではないのか。だからグランドゴルフ大会を計画することによって、これから開けていくと捉えた。
- ・他地域に三世代交流事業ということでグランドゴルフをやっていたのを見に行ったことがあるが、中居林でもこういう活動に皆で集まり進んでいけるのではないかという視点で期待している。

■委員

- ・グランドゴルフ大会を開催することが唯一やる意味のある事業なのか。
- ・この地域の事実性がわからなければ、地域に即した事業というのは判断できないところもあるが、この地域の場合ほかにイベントやアイデアを含めて考えた結果としてグランドゴルフは選択肢の一つであるならば、奨励金を交付してもいいと考えた。

■委員

- ・世代間をキーワードにしたいと思ってみていたが、世代に関しての仕掛けは書いていない。子ども会との連携等書いてあれば違ってくる。
- ・まちづくり視点でいくのであれば、仕掛けの部分に不安感があるので、プレゼン審査会で説明してくれるとよい。

■事務局

- ・他の種目でも大会はしているが、ゲートボールからグランドゴルフへ移行してきたということと、バスケット等は世代が限られてしまうということで、グランドゴルフ大会を開催したいと聞いていた。

■委員

- ・そうであれば、体育振興会主催ではなく、実行委員会形式にした理由がもう少しほしい。

■事務局

- ・世代間交流にポイントを置いているかもしれない。聞いてみないと分からない部分ではあるが、事業内容に小・中・高校生を含む、世代混合でラウンドして世代別に表彰をしたいと書いてあるので、体育振興会よりもいろいろな人が入ってこられるように実行委員会形式にしたいというのがあるかもしれない。

■委員

- ・前日も豊崎が実行委員会形式で行った。同じようにとらえると、コミュニティ計画のはずみをつけるためにというのであれば、非常によく分かるが、そういうことでもなさそうだ。世代間交流だけだとちょっと弱い。

■委員

- ・確かにそれだけでは弱い気がする。

■委員

- ・では質問事項にいれる。質問というか、委員会の意見のフィードバックとして入れてほしい。そうしたらもう少し明確な実行委員会にする主旨がとれる。

## <質問項目>

- グランドゴルフがどのようなスポーツなのか、ルールや競技方法について簡単に説明してほしい。
- 体育振興会主催でグランドゴルフ以外で同様の事業を開催していないのか。あえて実行委員会という形で開催する理由は何か。体育振興会として開催することとの違いが分からない。世代交流ということで誰もが入りやすいようにということなのか。
- 50周年記念事業ということだが、グランドゴルフ大会以外で何か予定しているのか。50周年記念事業の一貫としてグランドゴルフ大会を開催するという事なのか。
- これをきっかけに今後も毎年実行委員会が開催していくということか。
- 体育振興会から助成金のようなものをもらっているが、実行委員会との関係はどうなっているのか。
- 世代交流に関しての仕掛け（例えば子ども会と連携する等）を具体的に教えてほしい

## 初動期支援コース③

### 八戸緩和ケアを考える会 / 緩和ケア普及・啓発事業

#### ■事務局説明

- ・昨年に引き続き2回目の応募である。
- ・全体的にプラスの意見のみで、高い点数を獲得している。特に、自発性、公益性の項目が最も高い点数となっていた。
- ・評価されている点としては、継続な事業で実績があること、同じ苦しみをもつ人が集まりやすい環境を努力してつくっていること、病気の方だけではなく、講演会を開催することで広く普及していること、会員のワークショップ開催や、緩和ケア病棟の視察を加える等工夫がみられること、緩和ケアの環境が少ない中で独自性を活かした内容になっていること等があげられた。

#### ■委員

- ・マイナス意見が一つもないということもあり、特に意見がないようなので次に入る。

## <質問項目>

- 特になし。

## 初動期支援コース④

### こなかの応援隊 ひまわり / こなかの応援隊「こなかのかわら版」発行事業

#### ■事務局説明

- ・全体としてはプラスとマイナス両方の意見が半分ずつであり、公益性が高くなっている。
- ・評価されている点としては、地域での情報共有や新たなコミュニティの創造、若い世代を巻き込んだ取り組みという点があげられている。
- ・マイナス評価としては、毎月発行の負担、マンネリ化、プライバシー保護等の問題があげられている。

■委員

- ・予算の立て方が少し安易である。
- ・予算書を見ると、印刷費、インク代、紙代・・・何世帯か分からないが、インク代が6万円というのはかなりの枚数である。学校の印刷機での金額をそのままというのは、安易すぎるのではないのか。
- ・奨励金が税金から出ることを考えると、見積もり等、予算の根拠が必要だ。

■委員

- ・経験からすると、24,000枚。12カ月で割るとひと月2,000枚になる。

■委員

- ・6個ではなく6箱である。1箱に何個入っているのか等、有効な使い方かどうか明確にしてほしい。

■事務局

- ・印刷は学校か公民館で行うと聞いている。この予算のインク代は学校の印刷機の見積もりである。

■委員

- ・このインク一つで何枚印刷しているのかという記載がない。ただ金額だけ提示するのは安易である。

■事務局

- ・印刷機の種類までは把握していない。

■委員

- ・学校で印刷したほうがこの団体が事業としてスムーズなのであれば、学校という選択肢を取るだろうし、印刷屋さんに頼んだ方が安いということもあるかもしれない。学校とのかかわりをもう少し明確にした方がいいかもしれない。

■委員

- ・それ以前に児童館が母体なのになぜ児童館で印刷しないのか。なぜ学校なのか。
- ・経費については、印刷と消耗品費だけなので、取材費やお茶菓子代等も必要ではないだろうか。奨励金対象外になるとしても、アバウトな感じがする。

■事務局

- ・児童館では印刷機がないので学校か公民館を借りると聞いている。

■委員

- ・そうなる製版用紙も当然持ち込みになるし、インクも持ち込みするという説明が必要である。

■委員

- ・学校で印刷するとなると具体的に持ち込みしないといけないため、実際の動きを反映した予算書にしたほうがよい。
- ・学校でやったほうがこの団体としては動きをとりやすいのだとすると、やはり予算書の明細が必要である。
- ・税金から出るということではなく、予算の積算根拠を示してもらえると判断しやすくなる。

■事務局

- ・例えば何色刷りで1色あたり1万円かかる等具体的なことが分かればよいということか。

■委員

- ・ 6万円以内に収まるのであればよいが、足りなくなり目的を果たせなくなるのではないか。藤村委員の意見にもあったように、他の経費は必要ないのか等。
- ・ 経費以外での意見はないか。

■委員

- ・ 単純に毎月これだけの人数でというのは大丈夫か心配だ。

■委員

- ・ 経験上、発行するとすぐ編集会議になる。

■委員

- ・ 毎月だと何人かでやることになり、皆の意見を聞いている余裕がなくなる。
- ・ 最低2カ月から3カ月に1回の方がよいのではないか。

■委員

- ・ 新聞のネタとしてすでに収集してあるのか。ネタが決まっていれば、取材するだけの問題だが。回覧版だけでは伝わらないからというのは、世代間交流という目的のビジュアルの広報誌ということになる。
- ・ 話はずれたが、1カ月に1回は大変という意見について。

■委員

- ・ 発行することはよいが、配布手段を知りたい。回覧版を使用するのであれば、今までと同じでよいのではないのか。

■委員

- ・ 地域全体だと取材が大変である。子どものことだけでないのであれば。

■委員

- ・ 全戸配布するのであれば、メンバーが足りない。

■委員

- ・ やはり間隔をあけて徐々にやったほうがよい。

■委員

- ・ やっているうちに取材が荒くなってくると思われる。実際は計画書通りに進めるとしても、イメージというか、出版物を出すときはサンプルが必要。プレゼンの時はイメージしやすいようにサンプルやシナリオがあるとよい。手書きでもパワーポイントの中でもよいので、イメージできると点数がつけやすい。

■委員

- ・ 全戸配布することで町内会未加入者にも配布されるのはよいこと。
- ・ もしスタッフが全戸配布するのであれば、ガソリン代等も必要になってくる。

■委員

- ・ やはり配布方法や印刷機について予算をより具体化したほうがよいので、プレゼンではそのあたりがわかるようにしていただければと思う。

## <質問項目>

- かわら版のサンプルを手書きでもいいので見せてほしい。(かわら版のサイズや1部あたりの枚数も教えて欲しい。)

- 予算の大部分がインク代で占められている。内訳を詳しく教えて欲しい（インクはカラーか黒のみか。1箱何本入りか。インク1本で何部印刷できるのか。）
- 配布方法・手段について何人のスタッフで何世帯にどのような方法で配布するのか。
- 奨励金対象経費の部分の具体的な予算が計上されていないが、例えば打合せ時の飲食代等が発生するのではないだろうか。

## 初動期支援コース⑤

### 「美保野・金吹沢地域学校連携協議会／「美保野・金吹沢地区里山づくり」

#### ■事務局説明

- ・全体としてプラスの意見が多く、自発性と独創性の点数が高くなっている。
- ・評価されている点としては地域の活動をさらに展開出来る環境にあるということ、地域が一丸となって取り組んでいること、類似の状況におかれた地域・地区がまちづくりをする際に参考になること、地域の特性を活かしていること等があげられた。
- ・マイナスの点としては学校と連携しているので、教員の転勤等により活動の継続が不安定になるのではないかという意見があげられた。

#### ■委員

- ・概ねプラス評価であるし、委員の皆様から意見もないようなので、次に入る。

#### <質問項目>

- 特になし。

## 初動期支援コース総評案の検討

### ★初動期支援コース総評案★

- ・初動期なので、事業内容や計画、予算をもう少し具体化し、今後の方向性を明示したほうが今後活動を継続しやすい。
- ・今後の方向性や実現の可能性、予算の使い方等、計画を実行する上での課題を洗い出し、解決してほしい。
- ・メンバーの中に一人でも活動経験者が入っていれば、「まちづくり」という観点で活動しやすくなるのではないだろうか。

### 特定非営利活動法人 緑豊かな自然環境を育てる会 子どもの健全育成を図る活動

#### ■事務局説明

- ・全体としてマイナスの意見が多い。点数も7割切っている。
- ・評価されている点としては植林活動を継続して行ってきたことや地域や子どもへの環境教育としては大切な役割を担っているという意見があげられた。
- ・マイナス評価としては次のステップがみえない、拡大ポイントがわかりづらい、事業内容が詰め切れていないという意見があげられた。
- ・質問事項としては他の環境系の助成金ではなく、なぜこの奨励金に応募したのかということ、フォローアップ事業がどうなっているのか等があげられた。

#### ■委員

- ・企画書と申請書のタイトルが一致していない。またこれまでの事業との違いとして、単なる補助金の穴埋めとしか考えられないのであれば、趣旨が違う気がする。

#### ■委員

- ・なぜこの奨励金なのか引掛かる。今までたくさん活動してきているので、環境に関する助成金でより大きな事業をした方がいいのではないのか。

#### ■委員

- ・昨年と今年の違いがわからない。

#### ■事務局

- ・今までは八戸市外の学校と一緒に活動しているのがメインなので、八戸市内の学校と提携して市内での活動を増やしたいという申請だった。

#### ■委員

- ・予算書にファシリテーターへの謝礼の項目があるが、資料を読むと会員がファシリテーターをやっていたりする。別の人を呼ぶ予定かもしれないが、自前で済むものは自前でやったほうがよい。
- ・環境系の団体なので、名札をリサイクルする等工夫してほしい。

#### ■委員

- ・事業拡大という観点で、提携先の学校を増やしたいのであれば、その目的が何か明確にしてほしい。
- ・自主財源でやりきれているのであれば、この奨励金が必要な理由がわかりにくい。
- ・次の事業をやったあとのストーリーが見えないので、今までと同じだという印象を受ける。

#### ■委員

- ・事業計画書の事業実施に期待される効果の部分で今までやってきた活動の中で健全育成の部分でネックだったからがんばろうというのが見えれば、少し納得がいく。

#### ■委員

- ・会の効果ではなく会が今後どうなっていくのかというストーリーが見えない。そこをプレゼンの時に説明を入れてくれればよい。そこで発展性が低い評価になっている。
- ・シンプルに次のステップを見せてほしい。

## <質問項目>

- 他の助成金も受けているが、なぜこの市民奨励金に応募したのか。
- 事業拡大ポイントを明確に伝えてほしい。提携先に市内の中学校を増やしたようだが、それ以外の事業拡大予定はどうなっているのか。
- 今後の展開、例えばフォローアップ事業等の予定を簡潔に伝えてほしい。

## 事業拡大支援コース②

### PEACE LAND/DOS ORIENTALES Live in hacchi (仮)

#### ■事務局説明

- ・全体としてマイナス評価が多く、特に自立性と貢献性が低くなっている。
- ・評価されている点としては、各種イベントで実績があること、音楽イベントだけではなく、中心市街地の活性化へつながるものであること、はっちを活用した規格であることがあげられる。
- ・マイナス評価としては団体の目的が環境保護であることから、本来の目的からずれてきているということ、次のステップへの移行が不明確なこと、助成金頼みであること、「まちなかのにぎわい創出」のためにふさわしい内容・規模であるのかということ等が意見としてあげられていた。

#### ■委員

- ・23年度と24年度の事業の差が大きすぎる。23年度は環境に関することを行いすごく良いと思って見ていたが、今年度のコンサート開催になったのはつながりが見えない。
- ・規約が3行だけなので、環境保護のためであればこのイベントと環境保護のつながりがわからない。これを質問したい。

#### ■事務局

- ・環境系の活動と賑わい創出の関係については、もともと南郷で PEACE LAND としてではないがこういうイベントを開催しており、はっちが出来たことをきっかけに街中でやることによって賑わいを創出というところにつなげられるのではないのかということだった。
- ・環境保護とイベントの関係については、今まで開催してきた音楽イベントでは必ずゴミ問題や自然保護問題をさりげなくアピールしており、今回のイベントでも環境問題は全面に出さないけれども、さりげなくポイントポイントでメッセージを入れて優しくアピールしていきたいとのことだった。

#### ■委員

- ・環境問題等をポスターかどこかに入れ込んでいくことになるのか。

#### ■委員

- ・一番必要なことだ。

#### ■事務局

- ・イベントに環境のことをどう盛り込んでいくのかということか。

#### ■委員

- ・事業計画書の目的がまちの賑わい創出になっている。環境の話が入っていないので環境の話と会の目的とマッチしていなくて混乱する。

#### ■事務局

- ・環境を広範囲に解釈すれば‘まち’というのはあらゆる環境全体と捉えられる。生活環境・音環境・表現環境・メディア環境・イベント環境・自然環境・・・ということで。今回は事業拡大ということで、別の観点での環境を広げたいとのことであった。

#### ■委員

- ・この事業の趣旨が奨励金の趣旨と合致しているのかというのは直感的に疑問がある。
- ・こういうイベントを助成することは他にもそういう主旨があるのではないのか。
- ・委員会経験が薄くて恐縮だが、助成金を交付してきた事業を見ても実は類似のものは見当たらない。どちらかという、中居林のほうが中心市街地に焦点を当てているので、大会自体が意味がある見方はできる。
- ・このイベントはピアニストを呼んでコンサートを開いて人を呼び込むという主旨のもの。このようなイベントにこれまで交付してこなかった気がするし、違う気がする。
- ・「賑わい創出」という目的が達成されるのか違和感がある。

#### ■委員

- ・環境を考える会がいきなりミュージックイベントやフリーライブを開催するのは、まるっきり違うことなのではないのか。
- ・出演者の方に頼むのはかなり高いけれども、下の名前を忘れたが馬場さんという八戸で結構頑張っている女性ジャズピアニストがいて、そういう地域の方に頼んだほうがもっと安くできるのではないのかと考えたりした。

#### ■委員

- ・皆さんと同じで今までの活動がガラッと変わったという印象があるのでもう少し説明してほしい。

#### ■委員

- ・佐藤委員と同じで、環境保護活動が目的であれば、そこにぶつけたアピールがないと助成金に応募する会としての組織はどうなのかという感じがする。

#### ■委員

- ・野外フェスに行ったことがあればイメージしやすい。環境とつなげた野外フェスがある。サブカルチャーの話になるのだがエリアを環境として捉えて仕掛けをした音楽イベントだ。
- ・この辺りではあまりないので見たことがないとイメージし辛いかもしれないが、環境を考えるために音楽をやろうというのではなく、どちらかという、ミュージシャンが環境を考えようという流れで行っている。
- ・音楽をやっている人が音楽以外で何かまちに関わろうということで、音楽を使ってまちに関わって環境という話につなげていく。
- ・今回はミュージシャンを呼んできて、環境のことをしゃべって、環境を訴える場でやりたいということであれば、逆のストーリーになる。つなげる意味はわかる。
- ・ただ、野外フェスと違ってそういう環境を作れるのか。

#### ■委員

- ・三八城公園や市役所前広場で行う等。

#### ■委員

- ・それこそ金吹沢でやるほうが伝わる。

■委員

- ・期待される効果が街中の集客であることが少し違う気がする。

■委員

- ・環境と音楽をつなげることと、まちの賑わい創出は別ではないのか。
- ・テーマが3つくらい入っている。1つはやってみたらいいと思うが、事業計画を見直す必要がある。

■委員

- ・もし行うのであれば、勧誘する中でごみ問題をどう考えるのか。例えば、イベント終了時にゴミが一つも落ちていないような企画にする等。そこまで盛り込んだ内容であればいいが、そこまで踏み込んでない。

■事務局

- ・今後の活動とどう結びつけようとしているのかということか。

■委員

- ・団体の未来を聞きたいが、事業計画書だけだと環境を考える会なのに、環境のことも載っていない。

■事務局

- ・団体としての新たな分野として拡大ということにもなりえる。
- ・まちなかの賑わい創出をしようと思った目的意識が見えないということか。
- ・今までの活動は環境がメインだったが、その分野を別の方向に広げようという課題意識や考え方がわからないということか。

■委員

- ・団体の概要に地域の活性化があるが、会の規約にはない。規約を追加してくれれば、可能性がある。環境保護のための活動だけが目的なので。地域の活性化は入っていない。

■委員

- ・会の今後のための事業拡大になるのが、規約が制限をかけているということだ。

■委員

- ・八戸ではライブ等見る機会があまりないので、機会をつくるということでは取り上げてもよい。

■委員

- ・去年「はっち市」の中でライブ&トークをプロデュースしている。
- ・もう少し整理して、会のもともとの目的とにぎわい創出との関連性を明確にしてほしい。
- ・今後のステップとしてまちのにぎわい創出ということを念頭に置いた事業なのかどうか。

■事務局

- ・なぜにぎわい創出という方向にむかったかということか。

■委員

- ・賑わいを創出しただけでもいいが、税金を使うわけだから、今回のイベント単発ではなく、会が育っていくために奨励金を出している理由が必要。

■委員

- ・おそらく計画の中に賑わいやまちの活性化という一文があれば、この奨励金に応募した理由づけになる。環境のみなのがひっかかる。

■委員

- ・アート系だと、一昨年に同じような趣旨でやった会があったが、アート系は判断が難しい。

■委員

- ・「元気な八戸づくり」だから基本的にはいいが、開催動機なり、団体としてのステップアップなりをもっとアピールしてほしい。

■事務局

- ・規約にはないが、団体概要書の設立目的には地域の活性化とある。

■委員

- ・規約にあればよい。

■委員

- ・見積もりはあるのか。

■事務局

- ・見積もりはないが、会場費やピアノ運搬費ははっちで決められた金額である。

■委員

- ・番町スクエアはどこか。

■事務局

- ・はっちの裏の駐車場のところである。シアター1のガラス戸をあけてつなげてオープンスペースにしてしまおうという構想だ。

■委員

- ・今までは会費をとっているが、今回、参加費等は発生しないのか。

■事務局

- ・無料でやることに意味があるようだ。

■委員

- ・震災復興の元気づけというのもないか

■事務局

- ・特にない。

■委員

- ・イメージしやすい具体的な企画内容をプレゼンで発表してほしい。

## <質問項目>

- このイベントに会の目的である環境問題について具体的にどう盛り込むのか提示してほしい。例えば、ポスターを貼る、イベントはゴミを持ち帰りゴミゼロにする等。
- 「地域の活性化」事業が会の規約の目的にないが、今後事業拡大する上でそういったことも視野に入れて活動していくということなのか。そうだとすると、規約を改正する必要があるのではないだろうか。団体の未来を聞きたい。
- このイベント以外の今年度の事業計画を具体的に教えて欲しい。

## 事業拡大支援コース総評案の検討

### ★事業拡大支援コース★

- ・これまでの活動を踏まえた上で、今後の展開をどういう方向に持って行きたいのか、ビジョンを明確にし、活動して頂きたい。

## (次第4) その他

### ◆市民提案制度市設定テーマ募集状況の中間報告について

- ・2/1~2/24 までの募集期間中に、以下1件の応募があった。

①ゴミポイ捨てゼロ ゴミ箱オーナー制度 提案課：教育指導課

### ◆今後のスケジュール

- ・4月21日(土) 平成24年度市民奨励金公開プレゼンテーション審査会 開催
- ・4月25日(水) 第2回協働のまちづくり推進委員会開催  
(案件：平成23年度市民奨励金の評価)
- ・5月上旬 平成24年度市民提案制度市設定テーマへの意見募集(メール)
- ・5月19日(土) 平成23年度実施事業 協働のまちづくり「活動成果発表会」 開催